

令和2年度事業報告

新型コロナウイルス感染症の拡大により、本県観光はいまだかつてない大きな影響を受けており、今年度は、会員がコロナ禍で受けた大打撃から回復することを目標に、会員に対して、国や県による支援等についてきめ細かい情報提供に努めるとともに、各施設の感染拡大の取組に対する緊急的な支援などを行った。また、県が実施した観光客の県内流動や消費拡大等を目的とした旅行商品造成支援事業を受託するなど、行政と一体となった観光誘客の取組を進めた。

インバウンド誘客については、上半期は県と連携して実施する台湾をはじめとする海外の旅行会社関係者等を対象としたファームツアーや現地でのプロモーション、商談会等が軒並み中止となったほか、クルーズ船の寄港も年間を通して皆無となるなど厳しい状況が続いたが、下半期以降、台湾国際旅行博での資料展示やオンライン説明会への参加などの動きも少しずつ出てきた。また、コロナ収束後に向けた外国人受入態勢の向上を図るため、観光案内所等の職員を対象とした研修会を開催するとともに、クルーズ船の誘致を図るため、寄港時の県内観光モデルコースを作成した。

一方で、国内誘客については、県内外でのプロモーションが困難な状況にある中、SNSを活用し、会員や観光情報の発信を強化したほか、県や観光連盟等で収集している観光統計データの分析・検証を進め、入込客の将来予測を行うシステムを構築し、会員のマーケティングを支援する取組をスタートした。

観光連盟による自主事業

重点目標 ・お客様目線の重視とビジネスとして継続・成長していく観光産業の形成
・みんなにやさしい観光あきたづくり

1 魅力ある観光地づくりの推進

(1) 観光地魅力アップ支援事業

観光地の魅力向上や情報発信等による観光客誘致や県内流動の促進を目的に、複数の正会員が連携して自ら企画・実施する取組に対し助成した。

また、秋田の冬の魅力を活用したイベントや、その魅力を発信する取組など、冬季観光の振興を目的とした事業を支援する「冬の魅力アップ枠」を継続し、補助件数を拡充した。

・助成額 新規事業 補助率 1 / 2 (上限 20 万円)

継続事業 補助率 1 / 2 (上限 10 万円)

※冬の魅力アップ枠は新規・継続ともに補助率 2 / 3

【採択一覧】

- ①毎年 10 月 2 日を「秋田県温泉の日」に定め、それに関連したイベントの実施
(秋田県温泉協会、(株)秋田温泉さとみ)
- ②横手のかまくらインスタグラムフォトコンテスト (株)秋田ふるさと村、(一社)
横手市観光協会) . . . 冬季枠
- ③体感！男鹿のナマハゲ冬季誘客事業 (男鹿温泉交流会館五風、(一社)男鹿市観
光協会) . . . 冬季枠

(2) 花まるっモニターツアー推進事業

観光資源に対する観光客の評価や課題を把握するため、着地型旅行商品の開発
や県内相互交流等を目指す地域と連携しながら、各業界の感染防止ガイドライン
等を適用し、コロナ禍に対応した新たな旅行スタイルを追求したモニターツアー
を実施した。

- ①第 1 回 7/4~5 西馬音内の盆踊り鑑賞と「さくらんぼ狩り」「トロトロ温泉」
に入り、鳥海山の絶景と伏流水で涼み、旬の「岩ガキ」を食べる 2 日間 (29 名
参加)

湯沢市からの派遣職員が同行し、訪問地域を PR した。



- ②第 2 回 10/11 森吉山ゴンドラで紅葉狩り！鹿角りんごもぎ取り体験！秋の北
秋日帰りツアー (24 名参加)

北秋田市からの派遣職員が同行し、訪問地域を PR した。



③第3回 10/18 角館 武家屋敷と紅葉の秘湯 玉川温泉（17名参加）

仙北市からの派遣職員が同行し、訪問地域をPRした。



④第4回 3/20 濱乃家の昼食と秋田舞妓・なまはげ太鼓（14名参加）



⑤第5回 3/28 蛸満寺の講話とフレンチの夕食（18名参加）



(3) テーマ性のある観光資料等発行事業

県内各地域や会員施設等の新たな魅力を発信することを目的とし、過去に発行して好評を得ている観光資料の更新・増刷を行った。

- | | | |
|------------|---------|-----------|
| ①秋田きれい旅 | 30,000部 | 令和2年10月発行 |
| ②イベントカレンダー | 4,000部 | 令和3年3月発行 |

2 受入態勢の向上・人材育成

(1) 受入態勢向上促進事業

①会員巡回調査

4月中旬から下旬にかけて、会員施設の巡回調査を前倒しで実施し、新型コロナウイルス感染拡大の影響のほか、行政や当連盟への要望等に関するヒアリングを行った。 計91施設

(2) 「秋田カンバン娘」事業

観光の最前線でがんばる女性を「秋田カンバン娘」として登録し、ラジオ番組を活用して、自らの地域や施設等のPR活動を行った。

①エフエム秋田ラジオ番組「相場詩織の秋田カンバン娘」出演によるPR

毎月1回、秋田カンバン娘が出演し、秋田のオススメ情報等を発信した。

②秋田ふるさと検定受検支援事業 利用実績7名

(3) 観光秋田未来塾開催事業

新時代の観光事業経営等に関する最新の知識・動向を学ぶ講座を開設しており、今年度は、オンラインを活用して「ウィズコロナ・アフターコロナに対応した経営戦略」をテーマに開催した。

①第1回 2/19 オンライン開催 (21名参加)

講師：跡見学園女子大学 准教授 篠原 靖 氏

(4) 宿泊・観光施設人材不足対策事業 [新規]

大学生アルバイトの確保を支援するため、会員の求人情報を会員大学に提供するとともに、アルバイト学生からSNSによる観光情報を発信する予定であったが、新型コロナウイルスの影響により、事業を取りやめた。

3 バリアフリー観光の推進

(1) バリアフリー観光推進事業

①新設観光施設等のバリア状況調査及び情報発信

新設・改修施設を対象に調査を実施し、ホームページ等で情報発信した。

(3月31日現在 4件)

②バリアフリー観光モニターツアーの実施

新型コロナウイルスの影響により、事業を取りやめた。

③観光コンシェルジュ (バリアフリー担当) の配置

(2) バリアフリー観光推進全国フォーラム開催事業 [新規]

新型コロナウイルスの影響により、フォーラムの開催を日本バリアフリー観光推進機構と協議し断念した。

(3) 「あきた旅のサポートセンター」・「秋田バリアフリーツアーセンター」運営事業

電話やメールによる各種問い合わせに対応した。新型コロナウイルスの感染拡大により、問合せ件数は大きく減少し、特に海外からの問合せは1件となった。全体としては646件で、前年同期比64%となっている。

①問い合わせ件数（3月31日現在）

| 受付 | TEL | 来所 | FAX | メール | 合計 |
|---------------|-----|----|-----|-----|-----|
| 観光連盟 | 465 | 20 | 28 | 60 | 573 |
| バリアフリーツアーセンター | 18 | 2 | 1 | 1 | 22 |
| サポートセンター（日） | 45 | - | - | 5 | 50 |
| サポートセンター（英） | - | - | - | 1 | 1 |
| 合計 | 528 | 22 | 29 | 67 | 646 |

4 国内誘客・消費拡大の推進

(1) 県内出前PR等推進事業

広域的な集客がある県内外の大規模イベントや県外の道の駅などにおける観光PRは、新型コロナウイルスの影響により、事業を取りやめた。

(2) 会員との連携による観光客受入体制強化事業

①ヤマト運輸協定事業

- ・新幹線停車駅（観光案内所）からの「手ぶら便」を実施した。
- ・秋田駅・角館駅・田沢湖駅の各観光案内所合計28件（3月31日現在）

②NEXCO東日本との連携事業

- ・9月に仙台市で開催予定であった「ハイウェイフェスタとうほく」は、新型コロナウイルスの影響により、開催中止となった。
- ・東北観光フリーパスへの協賛（アンケートプレゼント）を行った。

③秋田活版印刷様から寄贈された「健康祈願」と「疫病退散」御札の配布

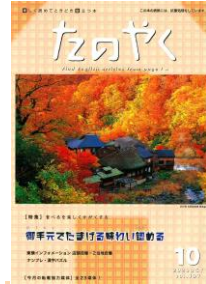
男鹿真山神社で健康や疫病退散、旅の安全を祈祷した御札を県内観光施設等を通じて、観光客に配布した（10万枚）。



④ホテル東横イン客室専用誌への情報掲載

全国展開している同ホテルの客室専用誌「たのやく（毎月発行）」に観光情報等を掲載し、宿泊客に発信した。

（例 8月：秋田内陸線 田んぼアート 10月：乳頭温泉郷）



(3) 誘客促進セールス事業

①首都圏、隣県等AGTセールス

- ・ 8月から10月にかけて、青森県、岩手県、山形県、福島県及び新潟県の旅行会社・バス会社など計92社を訪問し、本県への宿泊や公共交通機関を使用した商品造成の働きかけを県からの受託事業の一環として実施した。
- ・ 訪問先内訳（青森県9、岩手県10、山形県21、福島県29、新潟県23社）

②県外誘客モニターツアー

コロナ禍における県外誘客に向けた商品造成を促す取組として、旅行会社と連携した県外発のモニターツアーを実施した。

ア 秋田駒ヶ岳トレッキングツアー 6/27～28（12名参加。宮城県発着）



イ 比内地鶏の親子井と秋田内陸縦貫鉄道から見る田んぼアート日帰りツアー
8/2, 6, 22, 24 計4回（計57名参加。岩手県発着）

③隣県道の駅等へのパンフレット設置

(4) 首都圏商談会開催事業

秋田の観光創生推進会議や秋田県観光誘致協議会と共同で開催予定であった首都圏の旅行会社の商品造成担当者等を対象としたB to B商談会は、新型コロナウイルスの影響により、事業を取りやめた。

(5) 教育旅行誘致事業 [拡充]

①東北教育旅行セミナー（札幌市）への参加

7月30日に開催された（一社）東北観光推進機構主催のセミナーに職員2名が参加しプレゼンテーションを行うとともに、商談及び情報交換を行った。北海道からは中学校関係者46名、旅行会社7社23名が参加した。



②教育旅行誘致セールス（北海道）

7月28日から29日にかけて、札幌市、小樽市、苫小牧市及び函館市内の旅行会社（計15社）に誘致セールスを実施した。また、新型コロナウイルスの影響により、本県への教育旅行を実施した隣県の旅行会社（計7社）を訪問し、今年度の実施状況や次年度の傾向をヒアリングし、今後の誘致活動等の参考とした。

③秋田県教育旅行誘致説明会（札幌市）

道内の学校関係者や旅行会社等を対象に開催予定であった説明会は、新型コロナウイルスの影響により、事業を取りやめた。

④県内周遊ファムツアー

北海道内の中学校の先生を対象に開催予定であったファムツアーは、新型コロナウイルスの影響により、事業を取りやめた。

⑤教育旅行誘致助成事業

・バスの利用、会員施設への宿泊等の要件を満たす当県への教育旅行について、旅行会社を対象に助成を実施した。

・3月31日現在 5件 610,000円

⑥プロモーション動画の作成

誘致セールスや誘致説明会等での説明資料として使用するため、県内の伝統文化・工芸や農山村体験、歴史体験といったコンテンツを紹介する動画を作成しており、令和3年7月に完成する予定である。

[参考]秋田県の教育旅行客受入実績（令和2年度は4月から12月までの速報値）

| | | | | | | |
|------|-----|------|------|---------|------|---------|
| 30年度 | 学校数 | 295校 | 受入人数 | 31,215人 | 宿泊人数 | 19,869人 |
| 元年度 | 学校数 | 312校 | 受入人数 | 31,762人 | 宿泊人数 | 20,423人 |
| 2年度 | 学校数 | 257校 | 受入人数 | 17,393人 | 宿泊人数 | 9,191人 |

(6) SNSを活用した会員情報発信強化事業 [新規]

会員情報の発信力を高めるため、情報の拡散性が高いTwitterや視覚的訴求力があるInstagramを活用し、リアルタイムに発信した。また、3月にはFacebookとInstagramでフォロワー獲得キャンペーン等を実施し、抽選により秋田県の特産品のプレゼントを行った。

①3月31日現在 情報発信数 114件

②フォロワー獲得キャンペーン実績

フォロワー獲得数 Facebook 110件 Instagram 1,160件

(7) 市町村協働推進事業

県内市町村研修受入事業…3名（北秋田市、仙北市、湯沢市）

5 外国人観光客の誘致促進

(1) 訪日観光客誘客促進事業

①東・東南アジア誘客促進事業

台湾からの誘客を図るため、県と連携しながら、10月30日から11月2日に開催されたITF2020にパンフレット、ポスターを展示するとともに、前日の10月29日に（公社）日本観光振興協会主催のオンライン観光説明会に参加し、観光PRを行った。

②海外商談会等参加費助成事業

実績なし

③県内大学連携事業

秋田大学、国際教養大学等の留学生を対象にしたモニターツアーは、新型コロナウイルスの影響により、開催中止とした。

(2) 訪日観光客受入体制整備支援事業

①観光コンシェルジュ（インバウンド担当）配置事業

観光コンシェルジュ（インバウンド担当）を2名配置し、外国人からの照会

- ・回答、会員からの翻訳依頼、英語版ウェブサイトによる情報発信等を行った。

②多言語翻訳支援事業

3月31日現在利用実績 計30件

(英語17件、韓国語1件、中国語(繁)9件、中国語(簡)2件、タイ語1件)

③館内案内表示多言語化等支援事業

- ・宿泊施設等の多言語化を支援するため、簡易な案内表示板を作成し、希望する会員施設に提供した。また、新型コロナウイルス感染症対策として、マスク着用、検温、換気、ソーシャルディスタンスなど新たな表示板を作成した。

・3月31日現在 1会員 4枚



6 新型コロナウイルス感染症拡大への対応

(1) 新型コロナウイルス感染症対策支援事業[新規]

会員施設が新型コロナウイルス感染症対策として実施する取組（ハード整備を除く）に要する経費の一部を助成した。

①助成内容（対象経費）

- ・消毒液、マスク、ビニール手袋など衛生用品の購入費用
- ・飛沫感染防止のつい立やビニールシート、アクリル板等の購入、設置費用
- ・感染防止の注意喚起のための周知ツールの作成、購入費用
- ・売上確保のための広告掲載やチラシ作成等の費用 等

②助成額

1施設あたり上限額5万円（助成対象経費の4分の3以内）

③助成実績

3月31日現在 160件（157施設） 7,316,500円

(2) 会員巡回調査

4月中旬から下旬にかけて、会員施設の巡回調査を前倒しで実施し、新型コロナウイルス感染拡大の影響のほか、行政や当連盟への要望等のヒアリングを行っ

た。計 91 施設 . . . (再掲)

(3) 国や県の支援等に関する情報提供

国や県の融資制度や相談窓口等の最新情報について、連盟ニュース等を通じて随時情報を提供した。

(4) 秋田県及び秋田県議会観光産業振興議員連盟への要望活動

令和 2 年 6 月、秋田県及び秋田県議会観光産業振興議員連盟に対し、観光関連事業者の事業継続と雇用の確保に向けて、税制面における軽減措置の適用や各種助成制度の拡充等について要望活動を行った。

(5) 民間企業会員に対する会費の減免

新型コロナウイルス感染拡大により大きな打撃を受けている民間企業会員（観光協会を除く）を支援するため、今年度に限り会費の減免を実施した。

①会費が 50,000 円未満の正会員・賛助会員 全額免除

②会費が 50,000 円以上の正会員・賛助会員 半額免除

(6) 会員施設のコロナ対策の情報提供

会員施設で取り組んでいる感染拡大への対応のほか、独自の宿泊プランや通販事業、持ち帰り事業など新たなサービスを提供している事例を取りまとめ、SNS やあきたファンドットコム の専用ページで発信した。3 月 31 日現在 44 件



7 その他

(1) 広域観光推進事業

各種大会に後援等を行うとともに、記念式典などに参画している。

①後援・協賛

・ 3月31日現在実績

秋田ふるさと検定、あきた食のチャンピオンシップ、全国ごてんまりコンクール、秋田県・横手市菊花展示大会 他

共催1件、後援4件、賞状交付1件、副賞交付2件、協賛1件

②県内外の各種活動、イベント及び式典等への参加

- ・ 5/27 秋田日本海東北自動車道早期建設期成同盟会理事会・総会（秋田市）
- ・ 6/13 男鹿市北浦のいいところ展 試食会（男鹿市）
- ・ 6/15 秋田県への要望活動（秋田市）
- ・ 6/19 秋田県議会観光産業振興議員連盟役員会（秋田市）
- ・ 6/19 秋田県議会への要望活動（秋田市）
- ・ 6/19 （公社）日本観光振興協会観光振興事業功労者表彰伝達式（秋田市）
- ・ 6/29 第1回東北域内DMO会議（秋田市）
- ・ 7/ 3 御法川国土交通副大臣との意見交換会（仙北市）
- ・ 7/ 3 あきた食のチャンピオンシップ審査会（秋田市）
- ・ 7/ 6 あきた食のチャンピオンシップ表彰状授与式（秋田市）
- ・ 7/ 7 秋田活版印刷(株)寄贈 観光客配布用お札 祈祷（男鹿市）
- ・ 7/13 心が和む宿 青荷山荘レセプションイベント（仙北市）
- ・ 9/ 2 地熱エネルギー多面的利用促進コンソーシアムシンポジウム（鹿角市）
- ・ 9/ 9 日本海沿岸東北自動車道建設促進フォーラム（秋田市）
- ・ 9/11 貸切バスの安全安心対策実演会（秋田市）
- ・ 9/16 菅義偉内閣総理大臣就任祝賀セレモニー（秋田市）
- ・ 10/ 2 「秋田県温泉の日」PRバス出発式（秋田市）
- ・ 10/28 羽後町観光物産協会学習会講演（羽後町）
- ・ 10/30 秋田県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例（仮称）
第1回検討会（秋田市）
- ・ 11/20 久保田城まつり～秋田観光の見本市～（秋田市）
- ・ 12/11 第2回東北域内DMO会議（宮城県）
- ・ 12/13 赤羽国土交通大臣と観光事業者との意見交換会（秋田市）

(2) 秋田の観光創生推進会議協賛事業

秋田の観光創生推進会議に参加し、全県が一体となった観光プロモーションを展開した。

- ①秋冬版、春夏版及び東北DC用パンフレット等の作成
- ②手ぬぐいスタンプラリーの実施 等

(3) 観光連盟機能強化事業

①観光秋田盛り上げ隊会議

11月5日 第1回 次年度事業に関する協議 等

(会議メンバー) 小国 輝也 常務理事 (隊長)

松村 讓裕 秋田県旅館ホテル生活衛生同業組合理事長

打川 敦 (一社) 横手市観光協会会長

中嶋 日吉 第一観光バス(株)社長

山中 謙治 日本航空(株)秋田支店 支店長

板谷 大樹 NPO法人八峰町観光協会事務局長

佐藤 浩世 (株)SKO 女将

②観光協会会長等会議

2月下旬に秋田市で開催する予定であったが、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、開催中止とした。

③地域別懇談会

県内3地域で開催した。

- ・ 11月10日 県南地区 角館温泉花葉館 (仙北市) 14人
- ・ 11月12日 県北地区 秋田県北部老人福祉総合エリア (大館市) 14人
- ・ 11月17日 県央地区 アキタパークホテル (秋田市) 10人

(4) DMO推進事業

会員のマーケティングの強化を図るため、県や観光連盟等で収集している過去の観光統計データを分析することにより、全県及び県内8地域ごとの「入込客数」、「観光客の動向予測」を算出・分析するシステムを構築し、令和3年4月から「先行10か月予測レポート」として、会員に情報提供する。

(5) 各種協議会等連携事業

各種団体、協議会に参加するとともに、各種事業の推進に協力した。

- ・ 4/ 2 令和2年度秋田県温泉協会通常総会講演会（秋田市）
- ・ 4/13 令和2年度秋田市竿燈まつり実行委員会総会（秋田市）
- ・ 5/27 秋田日本海東北自動車道早期建設期成同盟会理事会・総会（秋田市）
- ・ 7/ 9 令和2年度あきたクルーズ振興協議会第1回幹事会（秋田市）
- ・ 7/ 9 令和2年度秋田国際コンテナ港発展協議会（秋田市）
- ・ 7/10 令和2年度第1回秋田県総合政策審議会専門部会（秋田市）
- ・ 7/14 秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン！実行委員会
令和2年度第1回総会（秋田市）
- ・ 7/16 令和2年度森吉山スキー場管理運営協議会総会（北秋田市）
- ・ 7/28 第1回秋田空港利用促進協議会国際線部会（秋田市）
- ・ 7/29 令和2年度秋田県観光土産品公正取引協議会委員会及び通常総会
（秋田市）
- ・ 8/ 7 令和2年度第2回秋田県総合政策審議会専門部会（秋田市）
- ・ 8/25 令和2年度秋田岩手広域観光推進協議会総会（仙北市）
- ・ 8/28 秋田県観光誘致協議会役員会（秋田市）
- ・ 9/ 7 令和2年度第3回秋田県総合政策審議会専門部会（秋田市）
- ・ 11/ 5 秋田港 水際・防災対策連絡会議（秋田市）
- ・ 11/10 秋田ワーケーション推進協会設立総会（秋田市）
- ・ 11/13 あきたロケ支援ネットワーク研修会（秋田市）
- ・ 1/20 令和2年度あきたクルーズ振興協議会第2回幹事会（秋田市）
- ・ 1/20 日本バリアフリー観光推進機構 会員連絡会議（秋田市）
- ・ 1/25 秋田の観光創生推進会議令和2年度第1回運営幹事会（秋田市）
- ・ 2/ 9 都道府県観光協会（連盟）会議意見交換会（秋田市）
- ・ 2/26 都道府県観光ボランティアガイド連絡協議会代表者会議（秋田市）
- ・ 3/ 8 第10回東北観光戦略会議（秋田市）
- ・ 3/ 9 秋田の観光創生推進会議理事会・総会（秋田市）
- ・ 3/17 令和2年度あきたクルーズ振興協議会総会（秋田市）

秋田県からの受託事業

(1) 秋田県観光統計事業

秋田県観光統計のデータ収集等を行った。

(2) 北東北三県・北海道ソウル事務所設置運営事業

令和元年度から2年間、ソウル事務所に所長を派遣している。今年度はコロナ禍の厳戒態勢の中で、ホームページやSNSを活用し、観光情報を発信した。

11月にはソウル国際観光産業博覧会に出展し、観光PRを行った。

(3) 北東北三県・北海道ソウル事務所物産共同事業

11月にソウルで開催するフードウィーク、釜山で開催される日本酒の試飲会に出展した。また、韓国企業への県産品のPRやマーケティング、オンライン商談会を実施した。

(4) 「あきたファン・ドット・コム」運用管理事業

県観光ホームページ「あきたファンドットコム」に関する問い合わせ対応や情報更新業務を実施した。

また、「あきたファンドットコム」のフェイスブック(日本語版)について週1回、フェイスブック(英語版)については週1～2回、観光情報を投稿した。

(5) 隣県からの誘客促進強化事業

新型コロナウイルスの影響により、青森県、岩手県、山形県内で実施する観光イベントは中止とした。その代替として、宮城県を含む4県の地域に密着したタウン情報誌を活用し、各県から本県に来るモデルコースや旬の観光情報等を発信した。

①青森県 ふい～らあ倶楽部 令和2年10・11月号(2頁)

②岩手県 月刊アキュート 令和2年10月号(3頁)

③宮城県 せんだいタウン情報S-style 令和2年10月号(3頁)

④山形県 月刊山形ゼロ・ニィ・サン 令和2年10月号(2頁)

(6) 大規模イベント等活用観光PR事業

12月15日から18日までの4日間、JR大宮駅において、秋田県とJR秋田支

社が共同で開催した「大宮駅あきた産直市」に参加し、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、来場者に観光パンフレット等を配布するとともに、なまはげの練り歩き等により、本県の魅力をPRした。



(7) アキタノインバウンド対応力レベルアップ事業

①外航クルーズ船寄港時における県内観光PRは、クルーズ船の寄港がなく中止、また、首都圏等の旅行会社に対する寄港地ツアーのセールスも新型コロナウイルスの影響により中止となった。

②観光案内所等連絡会議の開催

県の英語版観光サイト「STAY AKITA」やあきた旅のサポートセンターのWEBサイトの活用方法を説明するとともに、観光案内所における災害時のインバウンド対応というテーマで、観光庁担当者からリモートでの講演を行ったほか、コロナ禍における観光案内所の状況等に関して意見交換を行った。

また、今年度は「Withコロナ時代を生き抜くオンライン観光体験研修」（全3回）を本会議と併せて開催した。

- ・ 11月6日 第1回会議 秋田キャッスルホテル（秋田市） 14名参加
- ・ 1月13日 第2回会議 秋田ビューホテル（秋田市） 16名参加
- ・ 3月3日 第3回会議 秋田温泉さとみ（秋田市） 17名参加



③宿泊施設等を対象としたICT活用情報発信研修の開催

新型コロナウイルス収束後のインバウンド需要の回復に向けた対策を進めるため、県内3地区で「オンライン活用インバウンド誘客促進セミナー」を開催した。宿泊事業者からOTAを活用した誘客実践例の紹介を行ったほか、専門家から「オンライン観光」について、宿泊・観光施設の事例を交えての講義を行った。

- ・ 1月28日 県南地区 横手プラザホテル（横手市） 16名参加
- ・ 2月4日 県北地区 ホテル鹿角（鹿角市） 16名参加
- ・ 2月9日 県央地区 ホテルメトロポリタン秋田（秋田市） 16名参加



④クルーズ船寄港時の県内観光モデルコースの作成

外航クルーズ船寄港時のツアーの造成を旅行会社等に売り込むためのツールとして県内モデルコースを掲載したセールスシートを作成した。（日・英2言語）

(8) AKITA スノーリゾート推進事業

中国での冬季旅行博やセミナー、セールスは、新型コロナウイルスの影響により、事業が取りやめとなった。

(9) 台湾誘客促進事業

航空会社及びその関連旅行会社の商品造成担当者の招へいは、新型コロナウイルスの影響により、事業が取りやめとなった。

(10) 「秋田の魅力を再発見！」推進事業

県内外の旅行会社による県内旅行商品の造成及び販売を支援するとともに、公共交通の利用促進を図った。

| | |
|-------------------------------|--------------|
| 3月31日現在の助成実績 | 163,126,690円 |
| (内訳) | |
| 秋田県内発の商品 | 91,109,690円 |
| 東北域内発の商品 | 65,363,000円 |
| 東北域内発（個人及び団体）及び全国発（団体）の冬季誘客商品 | 6,654,000円 |

管理業務・法人に関する活動報告

(1) 定時総会

○開催日 令和2年6月19日(金)

○場 所 秋田キャッスルホテル

- 議 事
- ・令和元年度事業報告について
 - ・令和元年度貸借対照表及び正味財産増減計算書等の承認について
 - ・令和元年度会計監査報告
 - ・令和2年度事業計画及び収支予算について
 - ・会費(案)について
 - ・役員を選任等について

○出席者 5名

(2) 理事会

(第1回)

○開催日 令和2年5月13日(水)

○場 所 アキタパークホテル

- 議 事
- ・令和元年度事業報告及び収支決算等について
 - ・令和元年度会計監査報告について
 - ・令和2年度事業計画の変更(案)及び補正予算(案)について
 - ・令和2年度定時総会の招集について
 - ・総会提出議案及び報告について
 - ・会長、副会長、専務理事及び常務理事の職務の執行状況について
 - ・会員の入退会について

○出席者 理事12名、監事1名

(第2回)

○開催日 令和2年5月28日(木)

○場 所 書面による開催

- 議 事
- ・令和2年度事業計画の変更(案)及び補正予算(案)について

○出席者 理事19名、監事2名

(第3回)

- 開催日 令和2年12月3日(木)
- 場 所 アキタパークホテル
- 議 事
 - ・令和2年度事業計画の変更(案)及び補正予算(案)について
 - ・令和3年度事業計画(素案)について
 - ・令和3年度上半期の事業報告について
 - ・会長、副会長、専務理事及び常務理事の職務の執行状況について
 - ・会員の入退会について
- 出席者 理事13名、監事1名

(第4回)

- 開催日 令和3年3月26日(金)
- 場 所 アキタパークホテル
- 議 事
 - ・令和2年度事業計画の変更及び補正予算(案)について
 - ・令和2年度事業報告について
 - ・令和3年度事業計画(案)及び収支予算(案)について
 - ・令和3年度定時総会の招集について
 - ・役員改選について
 - ・会長、副会長、専務理事及び常務理事の職務の執行状況について
 - ・会員の入退会について
- 出席者 理事13名、監事1名